

韓国青年訪日団（第2団）（招へいプログラム）の記録 （対象国：韓国，テーマ：日本の地域産業及び地域活性化の取組みを学ぶ）

1. プログラム概要

韓国全土から選抜された高校生等 28 名が，テーマ「日本の地域産業及び地域活性化の取組みを学ぶ」の下，講義聴講，学校訪問，ホームステイ，視察等を通じて対日理解を深めました。

一行は東京都で日本理解講義や文化体験，学校訪問を行った後，新潟県に移動し，ホームステイや文化体験，学校訪問を行い，関係者との意見交換・交流を実施しました。

一行はプログラム中，テーマと関連した講義や訪問地域の地域産業，伝統文化等について強い関心を示し，各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。

また，帰国前の成果報告の場では，訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表を行いました。

【訪問地】

東京都，群馬県，新潟県，富山県，石川県

2. 日程

7月24日（水）入国（羽田国際空港）

【視察】パナソニックセンター東京，東京スカイツリー

7月25日（木）

【講義】「隣国を知ること」，【文化体験】浴衣着付け

7月26日（金）

【学校訪問】大東文化大学第一高等学校

7月27日（土）

【視察】富岡製糸場，水澤観世音，【講義】「上越市の魅力と地域活性化について」
ホームステイ対面式

7月28日（日）

終日ホームステイ

7月29日（月）

ホームステイから再集合，【学校訪問】新潟県立高田高等学校

7月30日（火）

【表敬・講義】富山市，「富山市の地域産業と地域活性化について」

【視察】富山市ガラス美術館，富山県富岩運河環水公園

7月31日（水）

【産業視察・文化体験】石川県伝統産業工芸館，水引工芸

【講義】「金沢の伝統産業と地域活性化について」

【視察】兼六園，ひがし茶屋街

8月1日（木）

【産業視察・文化体験】箔一箔工館，金箔貼り

【視察】金沢21世紀美術館，成果報告会

8月2日（金）

出国（小松空港）

3. プログラム記録写真

（訪問地：東京都，群馬県，新潟県，富山県，石川県）



7月24日【視察】パナソニックセンター東京（東京都江東区）



7月26日【学校訪問】大東文化大学第一高等学校（東京都板橋区）



7月27日【視察】富岡製糸場（群馬県富岡市）



7月27～29日【ホームステイ】（新潟県上越市）

	
<p>7月29日【学校訪問】新潟県立高田高等学校（新潟県上越市）</p>	<p>7月30日【視察】富山県富岩運河環水公園（富山県富山市）</p>
	
<p>7月31日【産業視察・文化体験】石川県伝統産業工芸館・水引工芸（石川県金沢市）</p>	<p>8月1日【産業視察・文化体験】箔一箔工館・金箔貼り（石川県金沢市）</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 高校生

・今まで自分は韓国の学校で歴史教育を受け、無条件に日本が悪いというような偏った考え方を持っていた。日韓関係に関する講義を聴講して、日本は手続きを重視する傾向がある一方で、韓国は手続きよりも正義・真理の実現を重視する傾向がある。このような違いが両国の見解の違いを生んでいるということを知った。どちらが良いとか悪いではなく「違う」ということを知れてよかった。

・訪日前は、近くて遠い日韓両国の間で学校を代表してプログラムに参加することは楽しみであると同時に負担でもあった。しかし、様々な貴重な体験を通じ、このプログラムの団員として日本を訪問できて本当に良かったと思った。また、今までは「いつか良くなるだろう」と他人事のように思っていた日韓関係についても、これからは私たちが1日も早く少しでも良い方向に向かうように行動していきたいと思うようになった。

・今まで日本を訪問しても、日本人と直接話して彼らの文化を肌で感じる機会はほとんどなく残念に思っていたが、今回の訪問を通じて、日本人と共に多くの時間を過ごすことができよかった。単純に視察するよりも、より深く日本を知ることができた。

5. 受入れ側の感想

◆ 訪問校関係者

・いつも英語圏の学校を中心に国際交流を行っているが、今回、韓国の生徒たちの日本語能力の高さに驚いた。日本語が堪能で共通の関心事も多いことから、本校の生徒たちもより親近感を感じ、短い時間にもかかわらず有意義な交流が行えたようだ。部活動にも熱心に参加してくれ、本校生徒たちにも良い刺激になった。今後もこのような機会があれば是非、積極的に交流を行いたいと思う。

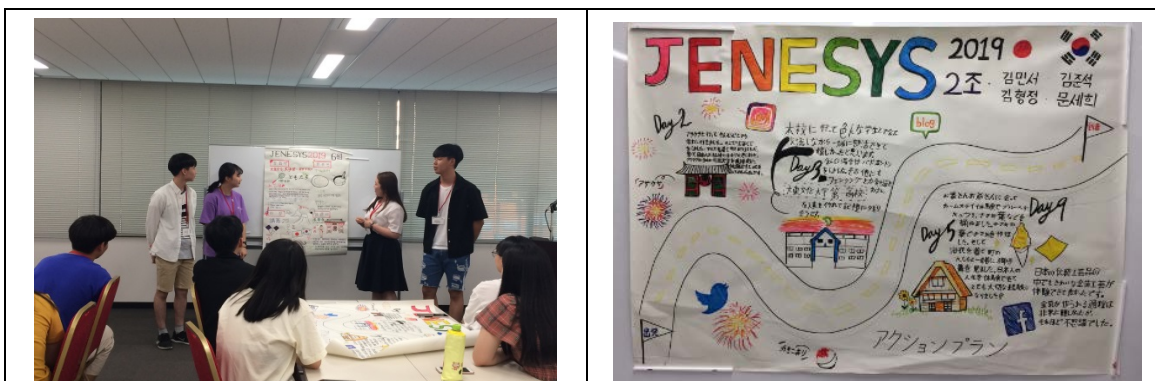
◆ 富山市関係者

・海外からの高校生に富山市の未来都市プロジェクトについての講義を行うということで、関心を持ってくれるか少し心配したが、思った以上に興味を持って熱心に聴講してくれてありがたかった。SDGs 未来都市としての富山市の取組みを多くの人々に伝える良い機会となった。今後も富山市に関心を持っていただけたら嬉しい。

6. 参加者の対外発信

 <p>Instagram ログイン 登録 oh_yukyounng • フォローする</p> <p>いいね！16件</p> <p>oh_yukyounng 방일 3일자 🇰🇷 大東文化大学第一高等学校 학생들 오늘 정말 고마웠어 ㅎㅎ 모두 너무 친절하고 좋은 추억 만들어서 너무 좋아❤️ 다음에 꼭 만나자!! 🥰🥰. #2019국제연 #일본문화원 #jenesys2019 #大東文化大学第一高校 #우정 #추억 #감동</p>	 <p>Instagram ログイン 登録</p> <p>いいね！2件</p> <p>yunseul60 #jenesys2019 #일본문화교류기금 #日韓文化交流基金 홈스테이! 같은 마음에 사신다는 일본에 시집온지 30년이 넘는 다고 하신 할머니를 만났다 할머니는 일본이 좋아서 20년 가까이 한국에 안돌아가겠다고한다</p> <p>우메보시도 직접담고 오니가리도 만들어서 먹었다 정말 너무 너무 맛있었다!!!!</p>
<p>学校訪問についての発信 訪日3日目。大東文化大学第一高等学校の生徒のみんな今日は本当にありがとう。みんなとても親切で、楽しい思い出を作ることができてうれしかった。必ずまた会おうね！！</p>	<p>ホームステイについての発信 ホームステイ!同じ村に住む日本に嫁いで30年を超えるおばあさんに会った。おばあさんは日本がとても気に入って20年近く韓国に帰らなかったと言っていた。自分たちで梅干しも漬け、おにぎりを作って食べた。本当にとっても美味しかった。</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



成果報告会では、グループ毎に、帰国後のアクション・プランとともに、各地での視察や文化体験、ホームステイや学校訪問を通じて学んだことについて話し合い、それらの内容を模造紙にまとめた上で発表を行った。主な発表内容は下記の通り。

- ・プログラム中、ホームステイが最も印象に残った。日本の生活様式について細かく学ぶことができ、また日本人の考え方について日頃気になっていたことを直接質問し、日本をより身近に感じることができた。

- ・韓国と日本の間には今日、色々な問題があるが、今回の訪日は韓国と日本との関係についてもう一度考えてみる良いきっかけとなった。韓国の立場だけではなく、他国の視点でも考えてみる必要があるということを知ることができた。このことを友達にも伝えたいと思う。

- ・友人たちに日本で感じた日本人の温かいおもてなしの心やホームステイの際にひまわり畑で農作業をしながら学んだ教訓、学校訪問先の学生たちと築いた友情について伝えたい。

- ・アクション・プランとして、今回の9泊10日間の旅行記録映像を作成しYouTubeに載せることを計画している。そこには、英語・日本語・韓国語の字幕を付け、日本に関心を持っている全世界の人々と情報を共有できるようにする。

- ・今回のプログラム参加中に撮影した写真をInstagram・FacebookなどのSNSにアップして、家族や友人、日本に関心を持つ全世界の人々が自由に見ることができるようにする。また、学校の英語サークルの会報誌に今回のプログラムの報告書を掲載し、友人たちに日本での体験や日本文化を広めたい。

(了)